

遊文通信

vol.08

東日本大震災に係る 遊文舎の取り組み事項について

株式会社 遊文舎
代表取締役社長 木原庸裕



このたびの東日本大震災により被災された方、その関係者のみなさま、心よりお悔やみ申し上げます。また平素は遊文舎をご支援いただき誠にありがとうございます。

事後の原発問題、風評被害等含めて未曾有の被害、甚大な影響を日本に及ぼしている東日本大震災問題。その詳細は各種報道で詳細に述べられていますが、それに対して大阪の一印刷事業者である私たち遊文舎はいったい何をすべきか、何ができるのかを社員一同考えてみました。

ヒト、モノ、カネ、ジョウホウのすべてのインフラが欠乏しているなか、即座に送れて即座に役立つものは、やはりカネであろうとの結論付けから、赤十字をはじめ各種印刷工業団体経由で、50万円の義援金を取り急ぎ送金いたしました。これをなんらかの形で継続させることが肝要と考え、現在も社内に義援金 Box を設置して、社員一同継続して取り組んでおります。

また、お取引先各位のみなさまの支援活動に参画させていただく形で、弊社もより貢献できれば幸いだと考えております。情報をお持ちのみなさまは是非ご教示くださいますよう、お願い申し上げます。

栄光の 架け橋

第8回

第8回は兵庫県生活協同組合連合会さんにお伺いし、
大西専務理事にお話をお聞きしました。

— 兵庫県生活協同組合連合会についてお聞きしたいのですが

「生協」と聞くと、協同購入や店舗を思い浮かべる方が多いのですが、生協（生活協同組合）は、その活動や事業の分野などにより「地域」「職域」「学校」「大学」「医療」「共済」「住宅」などと7つの種類に分類することができ、現在、兵庫県内では「住宅」以外の6種類の生協が活動しています。

そして、当連合会は、兵庫県下のそれら32の生協や生協連合会と近畿労働金庫、全農兵庫県本部をあわせた34団体が会員となり、主に会員の事業に必要な指導、連絡、調整と相互の情報交換を図ること等を事業としています。具体的には、会員生協役職員・組合員対象の研修会の開催や、会員生協が共催する組合員対象の催し開催や企画等をしており、当事務所では、それらの事務局として活動しています。

— 遊文舎の印象はいかがですか？

はい、いつも誠実に、迅速にご対応いただき感謝しています。日頃は、こちらから紙面のイメージを口頭で伝えることが多いのですが、いつもイメージ通りに仕上げていただき（それ以上のご提案もいただくことも！）、企画営業部の佐地さんをはじめ制作の方々のスキルの高さを感じています。また、昨年は、当連合会の創立60周年記念誌の作成もお願いして、的確なアドバイスと提案をいただきながら満足のいく記念誌を作ることができました。



今井事務局次長（左）、大西専務理事（中央）と佐地



— ありがとうございます。

今、特に力を入れていることは

生協の活動は、組合員の生活全般に及ぶ活動なので、生活・文化、高齢社会、環境問題、食育、地域福祉、社会貢献、防災など、取り組む課題は多種多様で、一般的に取り組みをすすめています。また、東日本大震災への支援についても大切に受け止めています。

— 最後に一言お願いします

生活協同組合は、いわば人と人とのつながりです。「一人は万人のために、万人は一人のために」この言葉を、これからも大切にしていきます。

（聞き手：佐地）



だーくんの 趣味を語れよ!

Level.8

僕、『だーくん』の趣味はゲーム。というわけで、今までに夢中になったゲームの思い出なんかをなんとなくはなしに書いていこうと思います。

不安定な天気が春の証拠ですかね。そんなつもりはないのですが、マイナーなゲームばかりとのご指摘を受けましたので、今回はかなりメジャーなゲームを…。「グラディウス」

出ました、コナミが出した有名シューティングゲームですね。かのコナミコマンド（上上下下左右左右BA）を確立したといってもいいでしょう。ちなみに、このコマンドを入れるとフル装備になります。ただし、Ⅲでは自爆します。もう一回言うと、Ⅲでは自爆します。

Ⅲは特に面白かったイメージがありますね。PS2でも出ているので、興味のある方は是非どうぞ。たまには、オプションを引き連れ、打ちまくるのもストレス解消になるのではないのでしょうか。難易度故に逆にたまるかもしれませんか。



印刷こぼれ話

Part.5

今回は「すぐスール」の中でベストセラー商品の名刺を取り上げてみました。

【名刺の基礎知識】

大きさは55mm×91mm、「4号」と呼ばれ、国内で使われている最も多いサイズです。

女性に多いのが3号の「角丸」。かどが丸くて一回り小さい(49mm×85mm)ものです。大きなものでは7号と呼ばれる121mm×76mmがあります。名刺というよりハガキに近いデカさです。



たて型かよこ型か？

- 縦型の台紙に縦書きの文字：オーソドックスなタイプです。安定感があり落ち着いたイメージです。
- 縦型の台紙に横書きの文字：地図や絵、写真など情報を入れやすいタイプです。
- 横型の台紙に横書きの文字：最近多く、ロゴやイラストなど、様々なレイアウトが可能な形です。
- 横型の台紙に縦書きの文字：バランスをとるのが難しい形ですが、デザイン・レイアウト次第でオシャレさは一歩です。

名刺に載せる情報は、文字をはじめ、会社のロゴやマーク、イラスト、写真、地図など。また罫線を入れたり、文字を反転させて白抜きにしたり、色をつけたりと、工夫次第でいろんなヴァリエーションがあります。

色でイメージが変わる？

- 青**：人気が高い青です。「信頼感」や「スピーディ」「クリア」なイメージは青です。
- 紺**：紺は賢者の色とされており、「知識」や「知性」をイメージさせます。コンサルタント、保険労務士などの職種の名刺に使用されることが多いです。スーツやブレザーに使われるオーソドックスな色でもありますね。
- 緑**：「癒される」、「安全」といったイメージがあり、介護や整体、エステ等、癒す職業の一方、工事関係の方に

も利用されています。エコブームの中、注目を集める一押しの色ですね。

オレンジ：「陽気」、「やさしさや解放感」、「おいしい」、「カジュアル」なイメージです。飲食関係やIT関連の方が多く見られます。

赤：赤は「アクティブ」、「ダイナミック」、「充実感」、「力強い」イメージあり、ぱっと、目を引きまします。印象が強いため、ライター、エディター、看護師の方がラインで使用することが多いです。

朱色：赤と色味が少し変わりますが、印鑑風に仕上げた朱色は飲食店、旅館、書道家、就職活動用の名刺にも人気があります。

茶色：「保守的」、「伝統的」、「重厚」のイメージがあります。弁護士や会計士さん、不動産業の名刺によく使われます。

パープル：パープルは「華やか」、「つややかな」、「気高い」のイメージあり、デザイン関連の方に使われることが多いですね。

黄色：黄色は「明るい」、「にぎやか」、「大胆」、「活動的」のイメージがあり、幼稚園の先生、料理教室、美容院の名刺に使用されることが多いです。

これからは、プライベートで使用する名刺を持つ方がさらに増えていくと思います。サークルや趣味や家族の名刺、あるいはペットの名刺など、一人で何種類もの名刺を持つ方が増えていくことでしょう。会社から支給される名刺だけではなく、自分自身を表現できる個性的で素敵な名刺が増えていけば素晴らしいですね。

画一化された社会のなかでアピールするために、小さな紙で大きな可能性を拡げる名刺。

ご用意の際はぜひ遊文舎をご利用くださいませ。

今月の一押し本



藤原 伊織

『シリウスの道』 文藝春秋 ¥1,800

今回は、あまりに破天荒で、ありえない人物関連設定ながら、フィクションとしては退屈しない一編です。

大手広告代理店・東邦広告の営業部副部長・辰村祐介には、勝哉、明子という幼馴染みがあった。中学生時代、大阪で三人は貧しいながらも助け合って生きていたが、ある時、明子の義父・貞和と明子の関係、そして、貞和の死の真相に関する、誰にも言えない秘密を抱えることとなり、その後、連絡をとりあうこともなくなっていた。

25年後。辰村の部署が、それまで取引のなかった大手メーカー、大東電機から、突然予算18億という巨額プロジェクトの競合の指名を受ける。辰村は、才色兼備の部長・立花英子、政治家の息子としてのコネ入社ながら、仕事に関しては、一生懸命な若手・戸塚英明、破天荒なところはあがるが、コン

みなさんこんにちは！新旧問わず、私キパノスケのまったくの主観に基づき、お勧め本をどんどん紹介させていただきます。ご感想などお聞かせいただければ幸いです。

コンピューターの天才である派遣社員・平野由佳と、コンペの勝利に向け邁進するが、ある日、そのプロジェクトが、自分の封印してきた過去と繋がっていることを知る…。

とにかく主人公に全く感情移入できない、ギャグにしか思えない作品世界。

少年時代に人を殺した過去を持ち、現在は500万円もの案件のクライアントが苦情を言ったら「細かい仕事でゴチャゴチャ言うな！」ってキレてぶん殴ったり、40前になってあえて独身で、島耕作ばりに女性をとっかえひっかえしたあげく、最後は10億のコンペに勝っておきながら「客が気に入らない」と机ひっくり返す男……ホントにいたらギャグでしかありませんね(笑)

でもエンターテインメントらしく、波乱万丈、退屈しませんのでお手隙の時に是非ご一読ください。(キパノスケ)



真っ盛りの
スタッフシリーズ

おのちゃんがいク!

VOL.8

伝説の営業マン おのちゃん (第1話の5)

おなじみの「おのちゃん」、伝説を生み出した彼を小説風に紹介します。
(この小説はフィクションです)

まだ慣れない通勤途中の景色は小野にとって新鮮に映った。昨日はいろいろ訳が分からない事もあったけど今日は今日でまたがんばろう…。俺も翔文館印刷では一応新人なんだし…。そんなことを考えながら歩いているうちに小野は事務所へと続く階段を上っていた。事務所の扉越しに少し中の様子が伺える。小野は目を疑った…。

時間は午前8時40分、扉の向こうはまだ電灯もついておらず真っ暗。人の気配は無い。今日は休み?…。いやそんなはずはない。昨日は初出社で月曜日、間違いなく今日は火曜日。しかも坂辺部長から今日の予定も聞いている…。就業開始時間20分前に事務所に誰もいないなんてありえない。小野は訳が分からなくなってその場で呆然とするしかなかった。働き慣れた社員ならあれこれ考えて行動することだろう。しかし小野は入社2日目。無理もないことだ。

5分ほど小野は事務所の扉の前に立っていた。すると一人の男がイヤホンを外しながらいかにも気だるい表情で階段を上がってきた。イヤホンからはまだ音が漏れている。男は小野を見ると少し表情を変え、緊張した面持ちになった。「ああ、あの、おはようございます…」とりあえず小野は目の前の見覚えのない男に挨拶した。

「お、おはようございます」
男は少しどもりながら返した。

小野は男に事情を説明した。男はそれを聞いて少し驚きつつも指紋認証システムで事務所の開錠を始めた。「あの、こちらの方ですか?」小野は男に尋ねた。確か昨日紹介された社員の中にこの男の姿はなかったからだ。「あ、はい、あの…昨日からうちに来られた方なんですか?」逆に男がボンボンと返した。小野は社員であろうこの男に自分のことが何も知らされていないことに少し腹を立てた。「小野といいます。宜しくお願いします」どうみても小野よりは若い男に小野は丁寧に挨拶した。その言動に少し焦った様子で男は返した。「あ、ああ…生産管理部の野田原です…」野田原はそれだけ言うと事務所へ入った。小野も後へつづいた。やはり事務所に、いや会社にだれも出勤していない。火曜日なのに…。 (つづく)

タイガース
換回する
かなあ



次回
予告

真っ盛りの
スタッフシリーズ

次回「おのちゃんがいクVOL9」は「伝説の営業マンおのちゃん 第1話の6」(予定) ※内容はやむを得ず変更になる場合がございます。ご了承ください。

遊文舎がお届けする超特急印刷サービス

最短
3時間
で印刷!

すぐスール
.com

すぐスール

検索

<http://www.yubun.co.jp/>

お問い合わせ・ご相談はこちら



電話

0120-132394

E-mail

sugusu-ru@yubun.co.jp

受付時間

平日9:00~18:00 (土・日・祝日、年末年始を除く)

配布用のチラシとは別に告知用のポスターも欲しい!!

ポスター+キャンペーン

A4チラシ300枚以上でポスター5枚無料!

(A2サイズ片面印刷)

- *モノクロのチラシのご注文の場合はポスターのカラー印刷はできません。
- *ポスターはA2サイズ(594×420mm)で専用紙のみになります(用紙の選択はできません)
- *チラシのデータをそのままポスターに拡大しますので、画像等が粗くなる場合がございます。
- *ポスター用に別にデータを作成されてもお届け致します。



編 集 後 記

前号から今号の間に大地震がありました。阪神大震災以上の被害で被災された方には心からお見舞い申し上げます。我々に出来るのは、印刷を通じてお役に立つことだと考え、精一杯の力を注いでいきます。

(Dandy)

次回、
News Letter
Vol.9を
おたのしみに!

